

## 木材価格市況標準相場

令和7年10月2日

東京木材問屋協同組合  
価格市況調査委員会

## ○今月の価格動向

|                    |    |
|--------------------|----|
| (1) 値上げ品目          | 4  |
| 南洋材・中国材            | 1  |
| 合                板 | 3  |
| (2) 値下げ品目          | なし |

## ○今月の市況動向

9月の商況は、先月と同様に荷動きが低調との報告が多く聞かれた。しかしながら、流通・産地ともに在庫は少なく、原木価格も高止まりの状態が続いている。需要が回復した場合は品不足が予想される品目も多い。

(国産材) 舞台関係で、スプルース材の品不足と価格高騰の為、吉野桧に注文が入ったとの事例があった。

(輸入材) 値上がり品目となったメルクシーパイン集成材は、原木がスマトラ島で特に少なく、ジャワ島の工場に注文が集中している。米国のコロンビアビスタ工場の火災事故については、復興の動きは見られないが、日本の需要が乏しいため、現状では影響は及んでいない。SPFの10月積みは、円建て価格では横ばいで推移している。

(合板) 国内針葉樹合板では、メーカーが9月も値上げを唱えたものの、実勢価格は横ばいで推移した。一方、輸入合板では相場価格が徐々に上昇しており、型枠用合板・塗装型枠用合板・構造用合板が値上がり品目となった。